

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 5月 3日

事業所名 どれみ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	・人数が多い日は2階(個室)を活用したり、公園に出かけたりしている	
	2 職員の配置数は適切である	60%	40%	・急な休みが出てても対応できている	室内でも外出時も安全に活動ができるようアルバイト・パートを含め職員の配置をしている
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	60%	40%		現在は身体障がい児の利用がない為、スロープやリフトの必要性はないが、段差や角など怪我に繋がる可能性がある箇所については配慮している
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		毎年実施している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・発達障がいについての学習会や感染症対策の研修を行っている	研修会に参加し、発達障がいへの理解や支援方法について学んでいる
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%		コロナウイルスの影響で保護者との面談が十分にできないこともあった為、電話など面談以外の方法でも丁寧に聞き取りを行い、アセスメントするように努めた
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%	・発語がなくても要求ができるよう絵カード等を作成して提示している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	80%	20%		支援計画の立案は担当者を決めておこなっているが、日々の支援内容や目標についてはミーティングの中で職員同士で話し合っている
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・色々な遊びを促している ・制作をしたり季節に合った行事、祝日にはクッキングや外出をすることもある	いちご狩り・芋ほり等のイベントは毎年行っている。児童からの意見も聞きながら、広く多くの子どもが楽しめるような活動を考えている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	20%		子どもの自発性や自由な発想を大事にしているためきめ細やかにはプログラムを決めてはおらず、大きな枠の中で個々が楽しめる工夫をして活動している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・活動前に前日の事や最近の様子などを職員で情報共有し、当日の役割などについても話をしている	業務の引継ぎや児童の様子について申し送りを毎日必ずおこない、スムーズに支援に入れるよう情報共有をしていく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・児童送迎後、当日あった事を報告し合い、引継ぎを行っている	翌日の朝にも毎日ミーティングを行い、前日の申し送り事項や気を付ける点などを共有している
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・アクシデントがあればヒヤリハットに記録して全職員で把握している ・活動内容や日々の様子は毎日ケース記録や日報に記録している	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	80%	20%	半年に一度モニタリングを実施している	電話やオンラインなども活用しながら保護者の方へ聞き取りをして立案にあたっていく
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校との連絡や下校時刻の確認などは保護者の方を通しておこなっている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	てんかん発作時の対応など	医療的ケアが必要な児童はいないが、アレルギーやてんかん発作のある児童については指示を預かり、医師の指示に沿った対応ができるよう職員間で周知している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	0%		該当する児童がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	60%	40%	事業所として交流の機会は設けられていないが、近くの公園などで地域の児童と一緒に遊ぶ機会もある	特に希望されない保護者の方もいるため、要望を聞きながら検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	20%	80%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や連絡帳にて日々の様子を聞いている。帰宅時には活動時の様子や変化等を報告している。	保護者の方にも学校や家庭での様子を聞き取りながら、活動内容を考える際の参考にしていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	80%	20%		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	80%	20%	契約時に説明を行い、了承を得ている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	20%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	60%	40%		コロナウイルスの影響もあり実施できていないが、要望を聞きながら検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	法人としてサービス向上委員会を設置しており、苦情に対して適切に対応できるよう体制を整えている。保護者にも書面を配布して周知している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・ブログや会報にて、日々の支援の様子を発信している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	会報やブログ等に活動内容を載せる際は、保護者の方へ顔写真やイニシャルを載せても良いか了承を得たうえで掲載している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80%	20%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	60%	40%		コロナウイルスの影響で実施できていない

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%		避難計画書を作成し、避難所(近隣の小学校)までの避難経路の確認を児童と一緒にこない、職員の動きや注意点を整理した
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	40%	60%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	対象となりうる児童の保護者には説明をして了解を得たうえで支援計画に記載をしている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	指示書を提出してもらい、除去食が必要な児童については弁当を持参してもらうなどの対応を行っている	食事の提供方法については、保護者の方に聞き取りをしながら進めていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	安全管理委員会を設置して、インシデント・アクシデント事項も全職員で共有している	